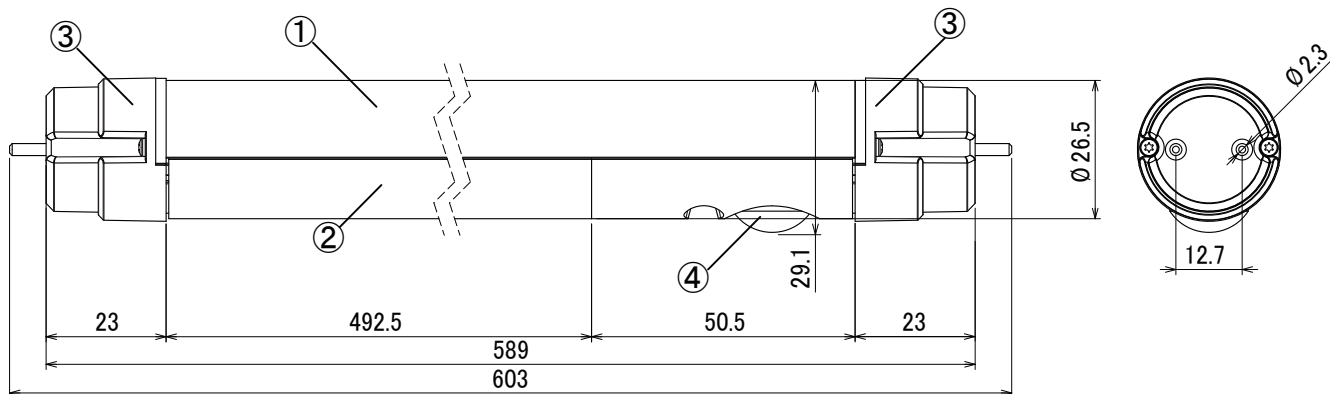


ECOHiLUX HE -人感センサー



【種別】直管LEDランプ 16形 人感センサー付

品番	光源色	色温度 (K)	全光束 (lm)	定格消費電力 (W)			定格入力電流 (mA)	照度タイプ	待機状態明るさ
				ランプ表記	100V	200V			
LDG16T・N/7/10/MSW	昼白色	5000	1000	7.0	7.2	7.6	73-41	低照度	10%点灯
LDG16T・N/7/10/MSO	昼白色	5000	1000	7.0	7.2	7.6	73-41	低照度	消灯

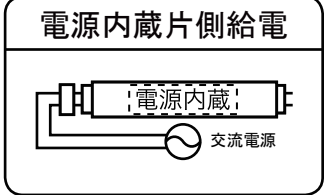
【安全上のご注意】 ※本直管は片側給電方式です。器具側の適合配線は、他のアイリスオーヤマ製直管LEDランプと異なります。

■警告

- ・ランプは必ず片側給電タイプ専用器具に取り付けてください。既存の照明器具を使用する場合は、器具回路から安定器をはずし、決められた配線工事を行ってください。絶対に一般の蛍光灯照明器具や両側給電タイプの照明器具には取り付けしないでください。(不点灯、破損の原因)
- ・調光(明るさを調節できる)機能のついた電球器具や回路、非常用照明器具、誘導灯器具、水銀灯器具、省エネシステムなどを有する制御システムなどでは絶対に使用しないでください。(破損、発煙の原因)
- ・紙や布などでおったり、燃えやすいものに近づけないでください。(火災・器具加熱の原因)
- ・位相制御方式の調光器や回路、非常用照明器具、誘導灯器具、水銀灯器具、省エネシステムなどを有する制御システムなどでは絶対に使用しないでください。(破損、発煙の原因)
- ・取り付け、取り外しや清掃の時は必ず電源を切ってください。(感電、破損の原因)
- ・ランプは分解しないでください。(感電、ケガ、漏電の原因)
- ・直流電源では使用しないでください。(不点灯、破損の原因)

■注意

- ・ソケット及びランプホルダーに確実に取り付けてください。(落下、怪我、過熱の原因)
- ・精密機器ですので、落としたりぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。(破損、怪我の原因)
- ・雨や水滴がかかる状態や湿度の高いところ、オイルミストが発生する場所で使用しないでください。(破損の原因)
- ・一般屋内でご使用の場合でもオイルミストが発生するところ、メッキ工場などの腐食性ガス、蒸気、気体にさらされる可能性のある場所、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。(一般の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれる場合があります。)光学性能に影響を与える場合があります。
- ・ランプを長時間直視しないでください。(健康を害する恐れ)
- ・点灯中や消灯後しばらくは、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。(ヤケドの原因)
- ・屋内専用の為、周囲温度5℃～35℃の範囲でご使用ください。(火災、不点灯の原因)
- ・白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して、白色LEDは色バラツキが大きいので、LEDユニット内のLED個々、および同一商品でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。
- ・色味は時間の経過にもない変化します事をご認識ください。
- ・LED電源の寿命の考え方は、基本的にインバータ式電源と同じです。
- ・赤外線リモコン方式の機器は離してご使用ください。雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- ・誘導無線をご使用される場合、雑音が入る場合があります。事前に確認して対応を施してください。



△ご使用になる前に、取扱説明書に記載の「安全上の注意」を必ずお読みの上、正しくご使用ください。

				品名	直管LEDランプ				
3	G 13 口金	ポリカーボネート、真鍮	2	定格電圧	100-242V	口金	G13	訂正日	2016年 10月 7日
2	カバー	ポリカーボネート	1	質量	240 g	定格周波数	50/60 Hz	初回作成日	2016年 1月 28日
1	本体	アルミニウム	1	作成	検図	承認	 アイリスオーヤマ株式会社		
No.	部品名	材質	数量	備考	土居	土居			

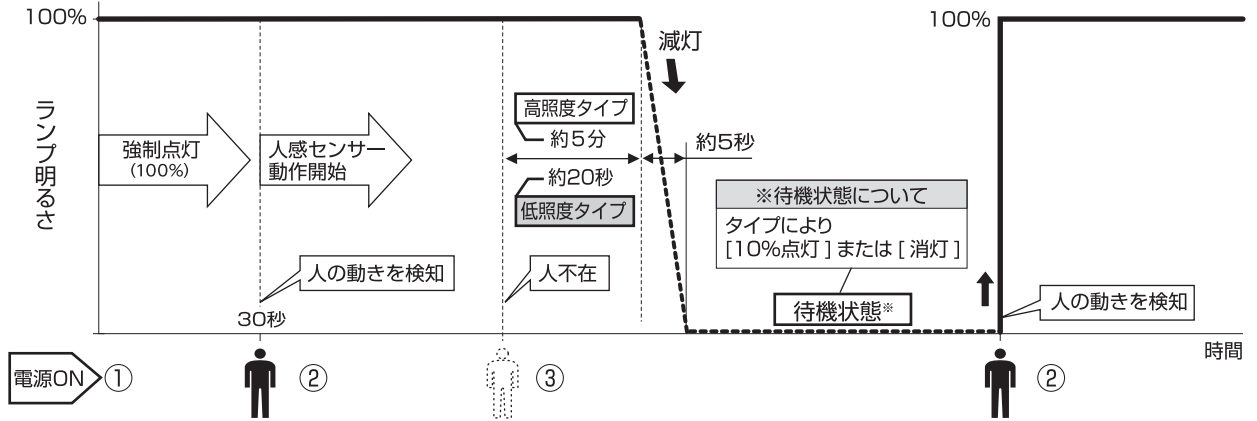
第三角法 (単位: mm)

点灯モードについて

本製品は人感センサーと明暗センサーによって以下の動作をおこないます。

■人感センサーモード（明暗センサー機能付）

本製品に搭載されている人感センサーは、感知エリア内の熱源の動き（温度変化）に反応します。



①点灯スイッチで電源を入れると、電源・センサー回路の準備のため明るさ 100%で約 30 秒間点灯します。

②人(熱源)の動きを検知すると明るさ 100%で点灯します。

同時に明暗センサーがはたらき、周囲の明るさが低照度タイプでは 200 lx 以上、高照度タイプでは 750 lx 以上の時に、品番に応じて [減灯 (10%点灯待機)]、または [消灯 (待機)] の状態になります。

③人(熱源)の動きが感知できなくなってから、高照度タイプで約 5 分、低照度タイプで約 20 秒経過すると、品番に応じて約 5 秒後に [減灯 (10%点灯待機)]、または [消灯 (待機)] の状態になります。

●上記動作条件は、各センサー部直下の環境によって変化することがあります。希望通りに動作しないときは、「故障かな?と思ったときは」または「使用上の注意」をよく読んで確認してください。

■常時点灯モード（工場出荷時の点灯モード）

常にランプ明るさ100%で点灯します。（表示灯が赤色で点灯）

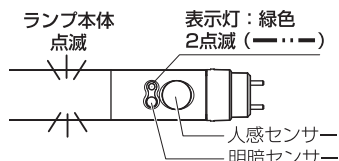
故障かな?と思ったときは

●使用中に異常と思ったときは、本書をよくお読みのうえ下記の点を再確認してください。

状態	考えられる原因	処置
点灯しない	●明るい場所に設置している	●暗い所で確認してください。 明るい場所では点灯しません。
	●電源がOFFになっている	●電源をONにしてください。
感知エリアの中に人が入ったのに点灯しない	●感知エリアがさえぎられている	●センサーの前に障害物があると人の動きを検知できません。場所を変更してください。
	●夏場など、周囲の温度と人体の温度が近くなり、温度差がない	●センサーは人の動きによる温度変化を検知するため、左記の場合などは感知しにくくなることがあります。
	●防寒着やヘルメット・手袋などで体温が遮断されている	
	●非常にゆっくりとした動作で感知エリアに侵入した	
感知エリアの中に人がいないのに点灯する	●感知エリア内に誤動作源がある ・熱を発生する機械など ・エアコンなどの送風する機器	●感知エリア内の誤動作源を取り除いてください。
感知エリアの中に人がいるのに暗くなる	●感知エリア内で人が静止している	●感知エリア内で人が静止していると減灯し、待機状態になります。
暗くならない	●感知エリア内に人や熱の発生源がある	●感知エリア内に人がいたり、熱の発生源があると点灯します。
	●常時点灯モードになっている	●人感センサーモードにしてください。

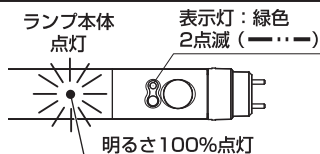
モード設定について

1 [人感センサーモード] に設定する

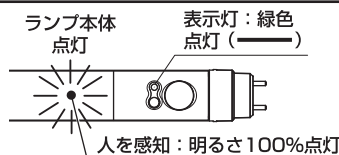


❶ 照明器具の点灯スイッチで、電源 [ON (約 1 秒) - OFF (約 1 秒)] を 5 回以上くり返し、設定を行う全てのランプ本体が点滅していることを確認してください。

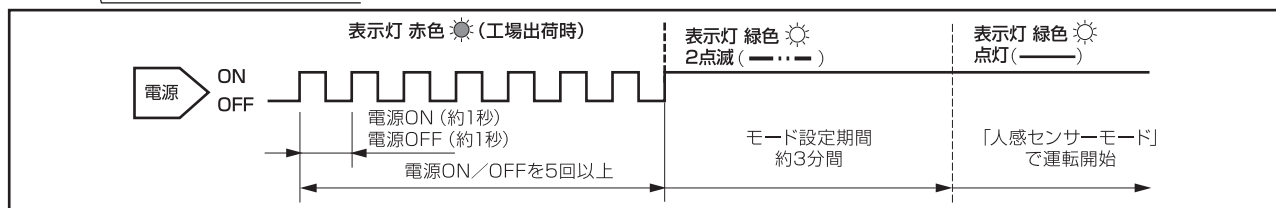
❷ ●一部のランプ本体が点滅していない場合
→ 全てのランプ本体が点滅するまで、電源のON/OFFをくり返してください。
●全てのランプ本体が点滅が終わり、表示灯が緑色で点滅している場合→❸へ



❸ 最後に電源をONにしてから約3分間はモード設定期間となり、表示灯が緑色で2秒周期の2点滅 (— — —) くり返しの状態になります。

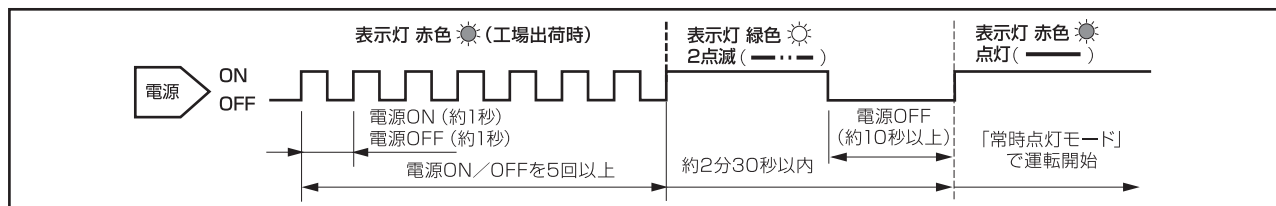


❹ 約3分間電源ONの状態を継続すると自動的に[人感センサーモード]に切り変わり、人の動きを感知すると明るさ100%で点灯します。このとき表示灯は緑色で点灯します。表示灯が赤色で点灯しているランプがある場合は、❶から再度設定を行ってください。



2 [常時点灯モード] に設定する

- ❶ 前記手順の「1 [人感センサーモード] を設定する場合」の❷の操作まで行ってください。
- ❷ 表示灯が緑色の2点滅をしている状態で、点灯スイッチで電源を約10秒以上OFFにします。次に電源をONにすると [常時点灯モード] で点灯します。
- ❸ 設定した全てのランプの表示灯が、赤色で点灯していることを確認してください。緑色で点灯しているランプがある場合は、❶から再度設定を行ってください。



⚠ 使用上の注意 ●人感センサーの扱いと特性、並びにLED照明について知っていただきたいことです。

- ルーバーや落下防止パーツなど、センサー部をさえぎる器具には使用できません。
- 人感センサーの特性上、周囲の明るさ、周囲の温度変化、人の移動速度、設置場所によってセンサー感度に差が出ます。
- 人感センサーの特性上、感知範囲に直射日光が入ったりセンサーに直射日光が当たる場所では、人感センサーが動作しなかったり、誤動作することがあります。
- 人感センサーの特性上、下記のような場所では動作しなかったり、誤動作することがあります。
 - ・周囲の温度が高く、体温との差がない場所
 - ・カーテンの近くや風などでゆれる植物などがある場所
 - ・温度が高い設備や暖房器具のある場所
 - ・光の反射が強い大理石の床や壁などの近く
 - ・加湿器やエアコンなどの送風を受ける場所
 - ・運搬などの台車や機械がある場所
 - ・ガラスや壁ごしの場所
 - ・ランプが振動する場所
- 人感センサーは風があたると誤動作の原因になる場合があるため、センサー部周辺には空調の吹き出し口や開放窓などがないように設置してください。
- 故障の原因になりますので、ランプ本体に強い衝撃を与えないでください。
- センサー部に力を加えないでください。誤動作や破損の原因になります。
- 帽子やマスク、手袋などを着用し、肌の露出が少ないと、反応しにくくなることがあります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入ることがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とリモコン受信部を離して使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では、音響製品に雑音が入ることがあります。器具と音響製品を離して使用してください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- 照射面や照射距離が近い場合、光ムラが発生する場合があります。